

調剤薬局のポジショニング分析を通じた価値向上策の考察

—調剤薬局を「薬ももらえるところ」へ—

氏 名 古邊 航太

指導教員 古賀 桃子

要旨

社会的孤立に対する地域社会の在り方が改めて問われている。2020 年頃からはさらにコロナ禍により生活様式が大きく変化し、世代を問わず「孤独」「孤立」に直面する人々が増え、調剤薬局においても患者から公私にわたる相談を受けることもある。しかしながら、薬で解決できる問題でもなく、医療に係る公的な仕組みも有効ではない。英国で制度化されている、既存の医療の枠組みでは解決が難しい問題に対しさまざまな地域資源を生かす「社会的処方」を基に、疾病の構造変化や薬局業界の全体を調査、研究し、小規模薬局やそこで働く薬剤師にできる地域の健康拠点づくりの策を提言した。